

を受けることができる。



都市計画道路整備事業

Q 全ての契約において金額の変更が生じている理由は。

A 道路建設課長 国庫補助事業であるため、規模や工区が大きいことに加えてより公平性が求められ、設計変更等が必要となったためである。

Q 可能な限り変更が生じないように現地調査や見積りに際し、業者との情報共有等をする必要があるのではないかと。

A 道路建設課長 差異を可能な限り小さくするため、事前調査や詳細設計に際しての業者との情報交換等を今後行う。

藤金地区地域整備計画等策定事業

Q 区画整理の一番の課題は。

A 都市計画課長 平成7年に都市計画決定し、市街化区域に編入されたが、現在に至るまで基盤整備が進んでいないこ

とが課題である。また、住民の方には税負担が生じている。

学び合い学習推進事業

小学校学力向上推進事業

中学校学力向上推進事業

Q 学び合い学習を推進してから3年が経過するが成果は。

A 教育センター所長 埼玉県学力・学習状況調査の結果で一人ひとりの学力の伸び率が上がっている。小学生は特に上位層と下位層の伸びが顕著である。また、中学生は英語で話すという項目が全国平均を上回っており、学び合いによるアウトプットの成果と捉えている。



小学校教育系ICT環境整備事業

中学校教育系ICT環境整備事業

Q 環境整備の詳細は。

A 学校教育課長 小学校に着脱式のタブレット端末を各

校40台の計320台、中学校にノートパソコンを各校40台の計200台、そのほかに大型モニターなどを整備した。



中学校のパソコンルーム

特別会計

国民健康保険

Q 保険料滞納の状況は。

A 収納課長 前年度と比較して、滞納世帯数が133件、差押えの件数が80件の減少となっている。

Q 疾病の状況は。

A 保険年金課長 レセプト件数と医療費のいずれにおいても、生活習慣病に該当する疾病が上位を占めている。今後とも被保険者の生活の質が落ちないよう保健事業の実施に努める。

後期高齢者医療

Q 医療費が被保険者数と比べて負担増となっていないが、

本市の特色は。

A 保険年金課長 1人当たり1年の年間医療費は、県内40市中で39番目であり、医療費が高くなる80歳以上の方が少ないことが要因と考えられる。しかし、現在本市の年齢層の中で一番人口が多い、いわゆる団塊の世代が10年後には80歳以上となり、医療費が上昇すると考えている。



介護保険

Q 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの利用が増えているが、要因は。

A 介護保険課長 利用のニーズが増えてきたことに加え、サービス内容が認知されてきたことが要因と考えている。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 新型コロナウイルス感染症が事業の終了時期に影響するののか。

A 区画整理課長 現在のところは大きな影響は出ていない。令和6年度中の換地処分にに向けて事業を進めていきたい。



若葉駅西口周辺

特別会計決算

国民健康保険	歳入 68億9032万円	歳出 67億4914万円
後期高齢者医療	歳入 7億7676万円	歳出 7億7446万円
介護保険	歳入 42億7020万円	歳出 39億9234万円
一本松土地区画整理事業	歳入 1億9716万円	歳出 1億7084万円
若葉駅西口土地区画整理事業	歳入 3億5590万円	歳出 3億3494万円